uchie
おもいやりをかたちに

ウチエのシャワー車椅子
くるくるチェアD

ウチエのシャワーベンチ
くるくるベンチD

ご使用のしおり

くるくるチェアD
品番：KRU-172（O型穴有りシート）
KRU-173（O型穴無しシート）
KRU-174（U型シート）
KRU-175（メッシュシート）

くるくるベンチD
品番：KRU-315（O型穴有りシート）
KRU-316（O型穴無しシート）
KRU-317（U型シート）
KRU-318（メッシュシート）

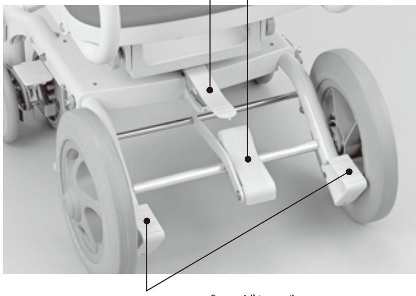
最大使用者体重
80kg以下

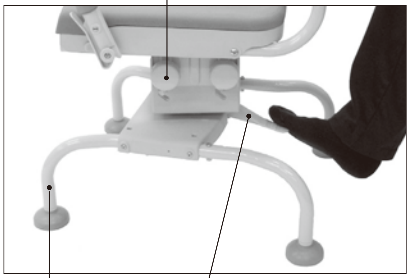
このたびは、弊社の『くるくるチェアD』、『くるくるベンチD』をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用になる前には、よくお読みのうえ正しくお使いください。
また、本書は必ず保管しておいてください。
本品を他のお客様へお譲りになるときは、必ず本書も合わせてお渡しください。

各部名称

くるくるチェアD

くるくるベンチD





O型穴無しシート（ウレタン+取付板）

メッシュシート

仕　様

	くるくるチェアD	くるくるベンチD
材　質	本体／アルミ、ステンレス・背、座、レッグシート／発泡ウレタン、ナイロンメッシュ	
重　量	約13kg	約9kg
車　輪	前輪／5インチ・後輪／10インチ	—

■ 付属品
・ご使用のしおり（本書）
・+ドライバー（#3）

サイズ

単位:cm　※（　）は短奥行

	くるくるチェアD				くるくるベンチD			
	KRU-172	KRU-173	KRU-174	KRU-175	KRU-315	KRU-316	KRU-317	KRU-318
幅	46				45.5			
奥　行	86（71.5）				59			
高　さ	86～94				85～93			
前座高	42～50		40.5～48.5	41.5～49.5	41～49		39.5～47.5	40～48
後座高	41～49			39.5～47.5	39.5～47.5			38～46
座　幅	39				39			
座奥行	40				40			
肘から前座	18		19.5	19	18		19.5	20
前座から足台	30.5/33/35.5（24.5）			32/34.5/37	—			
奥行（フットレスト無し）	58				—			
キャスター（前）	5インチ				—			
車輪（後）	10インチ				—			

ご使用にあたって

※ 室内専用車です。屋外では使用しないでください。
※ 強い衝撃を与えますと塗装がはがれますのでご注意ください。
※ 温泉の泉質によって長期的にご使用の場合、塗装がはがれる恐れがあります。(機能に問題はありません。)
※ 入浴剤をご使用したお湯をかけると車輪の回転部などの動きが悪くなる可能性があります。
※ お肌の敏感な方は、背シートやメッシュシートの上にタオルを敷く等してご使用ください。
※ シャワー浴を想定してつくられています。浴槽に入れての（中間浴）使用はしないでください。腐食による破損、けがの原因となります。

シート回転の仕方

回転機能を利用すると、狭い場所でも容易に洗身できます。

① くるくるチェアDは「タイヤストッパーペダル」を踏み、後車輪を固定します。
② 「回転ロックレバー」を踏みながら、シートを回転させます。「回転ロックレバー」を離すと、シートは45度ごとにロックされます。

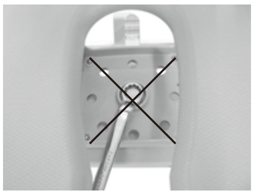
⚠ 注意

・回転部分へ手や足を入れないでください。
・下半身に麻痺や変形のある方を乗せて座面を回転させる場合には、タイヤなどに引っかからないように十分注意してください。
・シートを回転させる時は前輪キャスター、後車輪などに足があたらない様に気をつけてゆっくり回転させてください。
・下肢変形で硬直して、足が内側にいく人は注意してください。かかとがあたる可能性があります。
・シートを回転させた後にシートが真横、真後ろになった状態で本体を動かさないでください。本体に不具合が出る可能性があります。
・座面がぐらついたまま、ご使用にならないでください。その場合はネジを締めたりせずにすぐに使用を中止し、お買い求めの販売店にご連絡ください。

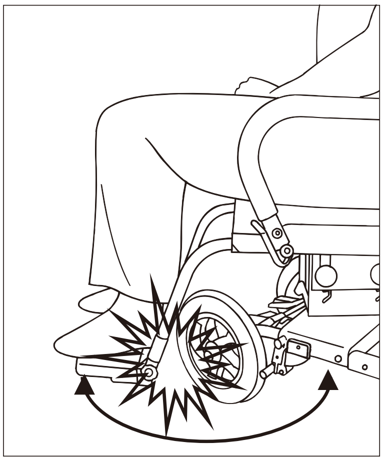
※ 長時間ご使用された場合に回転部がゆるまないように、出荷時は座面回転を固めに調整していますが、ご利用者を乗せて回転させると、軽く回転致します。
※ 入浴剤を使用したお湯をかけると回転しにくくなる恐れがあります。

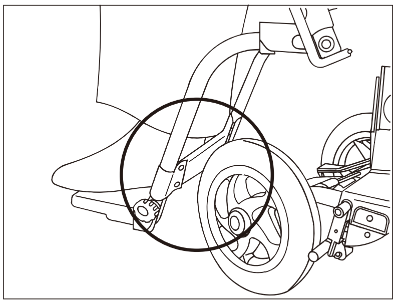
くるくるチェアD／くるくるベンチD中心ボルトについてのお願い

●座面下の中心ボルト（M16）は、お客様で絶対に締めたりゆるめたりしないでください。
使用中に破損するおそれがあります。
不具合がある場合はすぐに使用を中止し、お買い求めの販売店にご連絡ください。



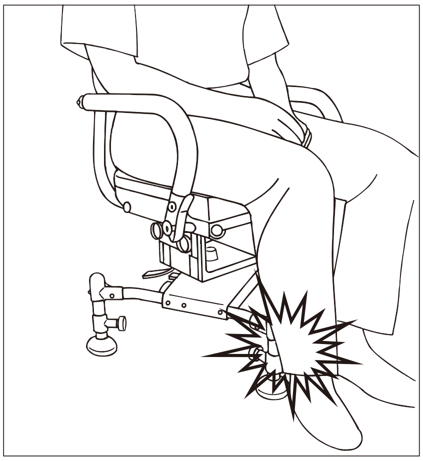
くるくるチェアD



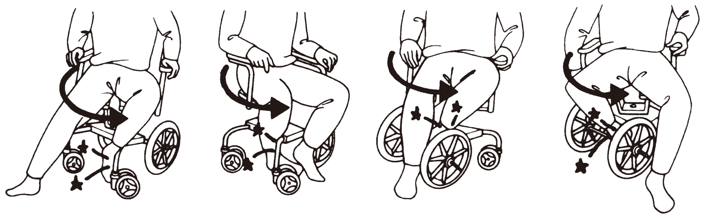


ゆっくり回転させてください。
足がタイヤなどに引っかからないように
十分注意してください。

くるくるベンチD



ゆっくり回転させてください。
足が脚部に引っかかったり、内側に巻き込まれないように十分注意してください。



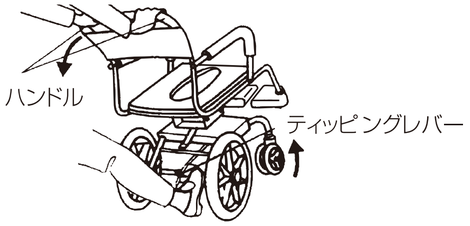
足の引っかけや巻き込みに注意してください。

前輪の浮かせ方

くるくるチェアD

前輪を浮かせることにより、小さな段差を乗り越えることができます。

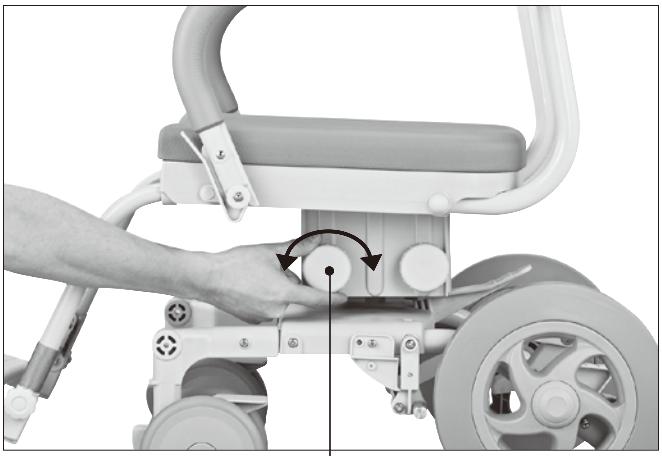
ティッピングレバーに足を当て、ハンドルを少し手前にひきつけるようにしますと、前輪を上げることができます。



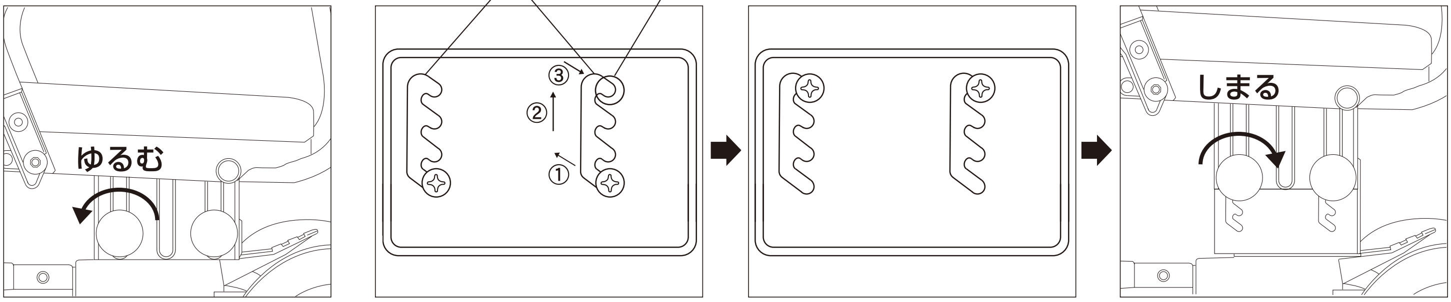
座面の高さ調節の仕方

座面の高さは、5段階（2㎝刻み）の調節ができます。
4段階まではスライドで、5段階目はネジを付け替えて調節します。
利用される方のお体に合わせてご利用いただけます。

1. 「高さ調節ネジ」を4本とも取れない程度まで緩めます。
2. 本体上部を持ち上げて、座面を利用したい高さにスライドして合わせます。その後、「高さ調節ネジ」をしっかりと締め直します。



高さ調節ネジ



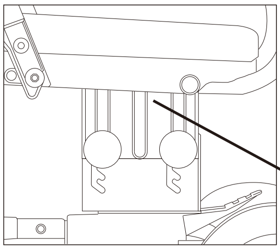
1. 4つのノブナットを取れない程度に十分にゆるめる。
2. 高さ調節ネジをスライドさせながら利用したい高さに合わせます。
3. お好みの高さが決まりましたら、高さ調節ネジをロック部分に合わせます。
4. 4つのノブナットをしっかりと締めてください。

5段階目調節方法

高さ調節ネジを下の調節穴に付け替えると、
さらに座面が2㎝上がります。

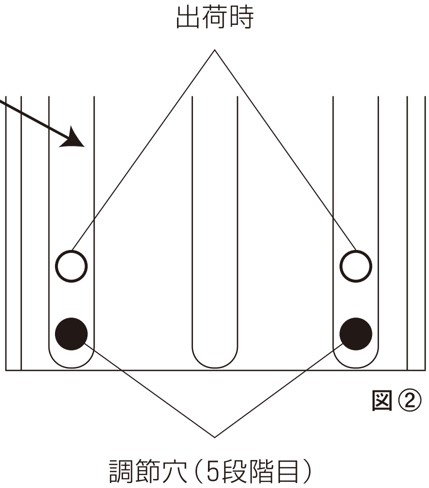
※ ネジは1ヶ所づつ付け替えてください。

1. 座面をスライドし、4段階目まで高さを調節します。（図①）
2. ノブナットを取り外し、ワッシャー、スプリングワッシャー、高さ調節ネジを取り外します。
3. 高さ調節ネジを下の調節穴に付け替え（図②）、ワッシャー、スプリングワッシャーを外側からネジに通し、ノブナットを仮締めします。4ヶ所すべて付け替えてください。
4. もう1段階座面をスライドさせます。
5. 4つのノブナットをしっかりと締めてください。



図①

高さ調節ネジを抜いた状態



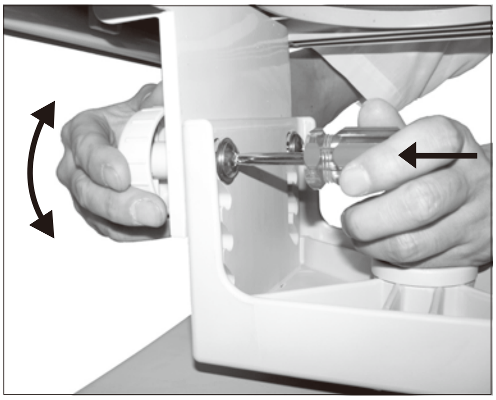
図②

⚠ 注 意

・高さ調節後は、必ずノブナットをしっかりと締めてください。締まりにくい場合は、＃3の+ドライバーを使用し、ノブナットを締めてください。
・高さ調節ネジは、4本とも同じ位置で締め、座面高さが同じになるようにしてください。
・ご利用者が座面に座った状態での高さ調節はできません。
・高さ調節ネジのゆるみが弱いまま調節を行うと溝が削れる場合があります。左右同じ高さに合わせて調節し、ボルトとノブナットでしっかりと締めてからご使用ください。

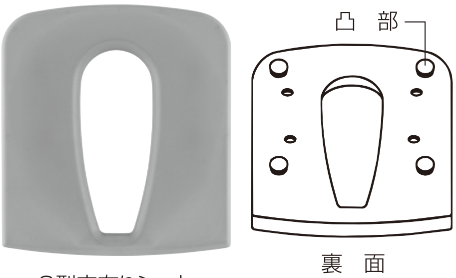
「高さ調節ネジ」がしっかりと締まらない場合は・・・

座面の高さ調節を行う際、#3の+ドライバーを使用して高さ調節ネジを締めてください。内側のネジ頭の＋部分にドライバーを合わせ、固定します。固定したまま、外側から高さ調節ネジを回します。

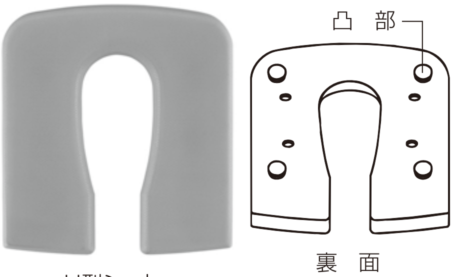


座シートの取り付け方

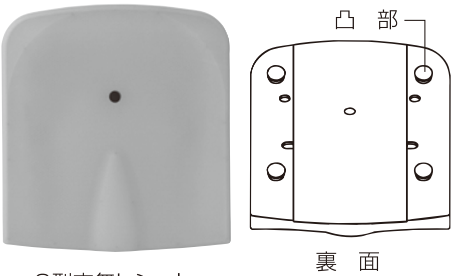
O型穴有りシート、O型穴無しシート、U型シートは交互に交換してご使用いただけます。



O型穴有りシート

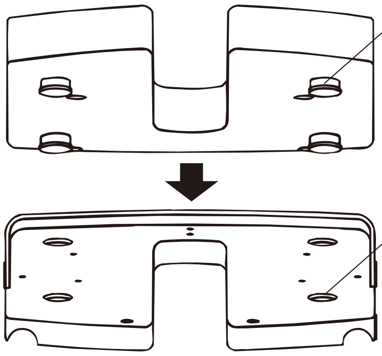


U型シート



O型穴無しシート

● O型穴有りシート・U型シート

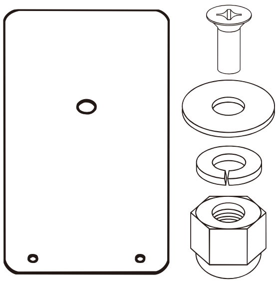


シートを取付ける際は、シート裏面の凸部を座面の取付け穴に合わせ、上からしっかりと押して取付けてください。

● O型穴無しシート

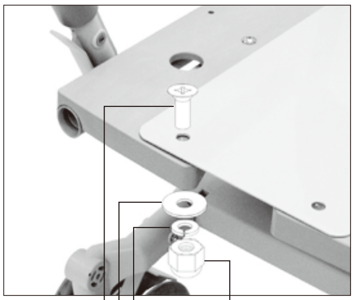
穴無しシートを取り付ける際は、最初にアルミ板を座受けにネジで固定します。

1. アルミ板のネジ穴と座受けの取付穴を合わせて、アルミ板を座受けにのせます。（写真①）
2. 皿ネジを上から通し、裏側から座金、スプリングワッシャーをネジに通して袋ナットで締め付けてください。（写真②③）
（＃3の＋ドライバーと＃10のスパイナを使用して締め付けてください。）
3. 穴無しシート裏面の凸部を穴に合わせ、上から押して取り付けてください。（写真④）

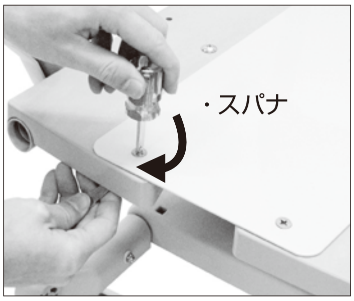


・アルミ板　・ネジ一式×2

写真①



写真②



写真③

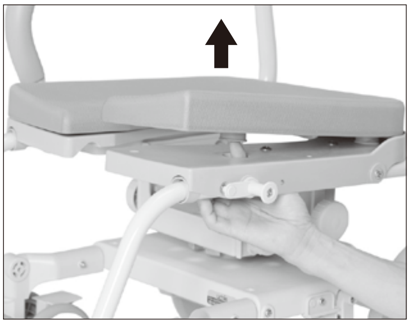
写真④

⚠ 注 意

※ シートは交換時のみ取り外してください。
※ シートを何度も外されると、裏面の凸部が破損するおそれがあります。
※ アルミ板が座受けに固定されているか確認をしてください。
※ シートがしっかり固定されているか確認してから使用してください。転倒、けがをするおそれがあります。

座シートの取り外し方

座面の裏側からシートを押して、取り外してください。



⚠ 注 意

※ シートは交換時のみ取り外してください。
※ シートを何度も外されると、裏面の凸部が破損するおそれがあります。
※ シートを取り外す時は、必ず座面の裏側からシートを押して、取り外してください。
※ シートを横から引っ張ったり、力を入れて抜かないでください。シートが裂ける場合があります。

アジャスターの取り扱い方　**くるくるベンチD**

・脚部のアジャスターで、約1cmの微調節ができます。床面の凹凸にあわせてご利用ください。

⚠ 注意

※ アジャスターをゆるめすぎないでください。脚部が不安定になり、故障、転倒、けがをするおそれがあります。

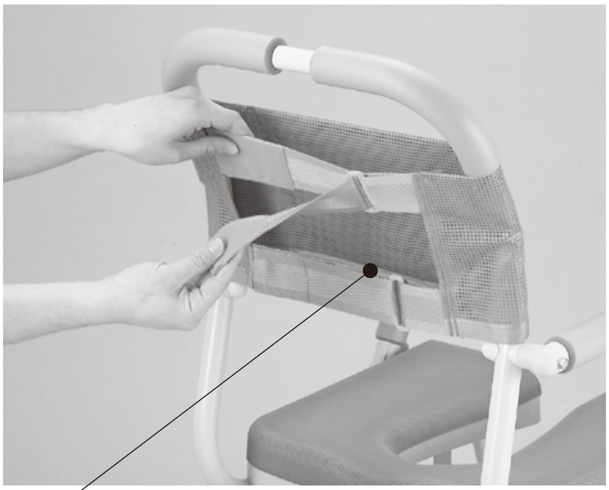
背シート調節の仕方

2本のマジックテープを使って背シートの張り具合を調節できます。
ご利用される方の身体状況に合わせてご使用いただけます。
<u>ご使用時にはマジックテープをしっかり止めるようにしてください。</u>

※お肌の敏感な方は、メッシュシートの上にタオルを敷く等してご使用ください。

⚠ 注意

- <u>ご使用時には必ず背シートを取り付けた状態でご使用ください。</u>背シートが無いと後ろに転倒する危険性がございます。
- 後転防止ベルトは取り外せません。無理に取り外さないでください。
- マジックテープの接着力が弱まった場合は使用を中止し、背シートを交換してください。
- マジックテープを頻繁に取り外ししないでください。接着力が弱まり不意に外れ、転倒、ケガをするおそれがあります。



背シート内に後転防止ベルトが付いています。

車輪固定方法

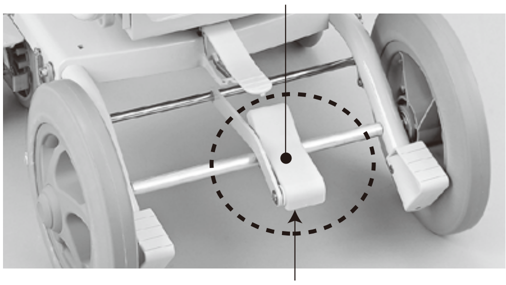
くるくるチェアD

<u>片足で操作できます。</u>

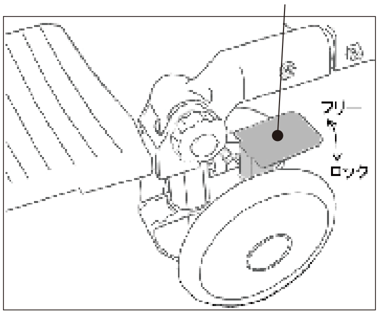
● 後車輪
タイヤストッパーはペダルの手前を踏むとロックが掛かり、上に戻すとロックが解除されます。

● 前輪キャスター
ストッパーを踏むとロックが掛かり、上に戻すとロックが解除されます。

後車輪

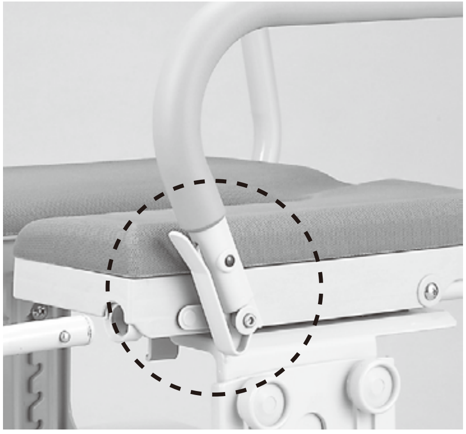


前輪キャスター



アームレストの取り扱い方

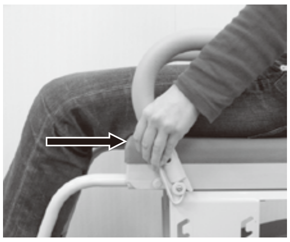
アームレストは左右ともはね上げ式となっております。
「肘ロック」の上部を押すとロックが解除され、アームレストをはね上げることができます。
アームレストを降ろし、肘掛け受けにはめ込むとロックされます。



肘ロック

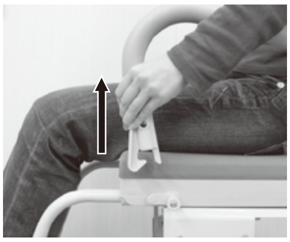
⚠ 注意

- ご使用時には必ず「肘ロック」をロックしてください。ロックがされていないとアームレストが外れますので、危険です。
- ご利用者を乗せたまま移動される場合、アームレストを持って移動されると、「肘ロック」が破損する恐れがあります。必ず本体を持って移動してください。
- 指詰めにご注意ください。
- 上がった肘掛けは後方へ回転しますので、よりかかると危険です。
- 固定した肘掛けの先端を内側から強く押さないでください。
肘掛け受けから外れますと危険です。



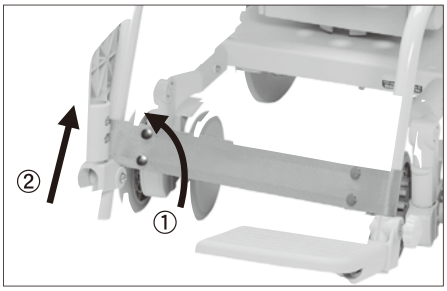
肘ロックの上部を押す。

ロックを解除する。



上に持ち上げる。

フットプレートのはね上げ方



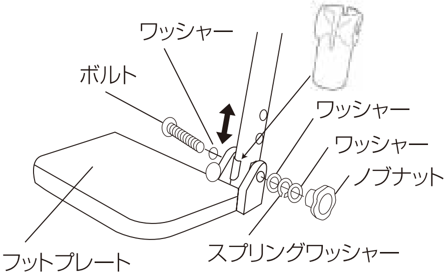
くるくるチェアD

フットプレートは横にはね上げ、後方に回転させる事ができます。

移乗の際にじゃまになりません。

⚠ 注意　乗り降りされる際は、必ずフットプレートをはね上げてください。
フットプレートの上に乗って乗り降りをすると、転倒、破損の原因となります。

フットプレートの高さ調節の仕方



くるくるチェアD

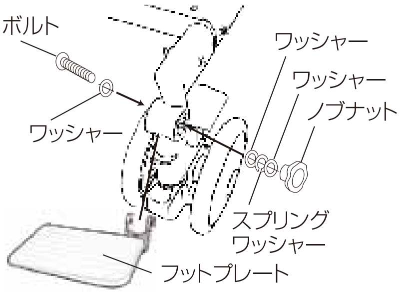
フットプレートは３段階の高さ調節ができます。

利用される方のお体に合わせてご利用いただけます。

1. ノブナットをゆるめて外し、ワッシャー（計3枚）、スプリングワッシャー、ボルトを取り外す。
2. 高さを調節し、ボルトにワッシャーをつけて通し、ワッシャー、スプリングワッシャー、ワッシャーを入れ、ノブナットをしっかりと締めてください。

⚠ 注意　左右同じ高さに合わせて調節し、ボルトとノブナットでしっかりと締めてからご使用ください。

短奥行仕様の仕方



くるくるチェアD

フットプレートを前輪上部に付け替えて、奥行を短くできます。（短奥行仕様）

1. フットプレートをパイプから取り外す。
2. 前輪上部にフットプレートをつけ、ボルトにワッシャーつけて通し、ワッシャー、スプリングワッシャー、ワッシャーを入れ、ノブナットをしっかりと締めてください。

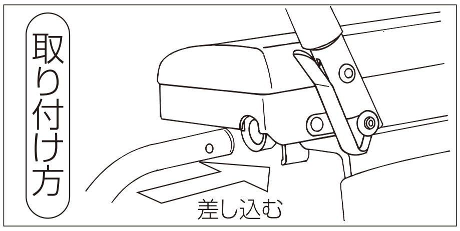
フットレストパイプの取り扱い方

くるくるチェアD

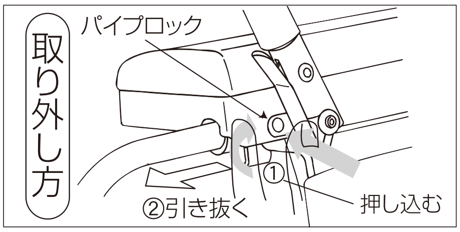
フットレストパイプは取り外し可能です。

ご利用方法に合わせて着脱してください。

※ フットレストパイプの取り付け・取り外しの時には脚ベルトは外してください。

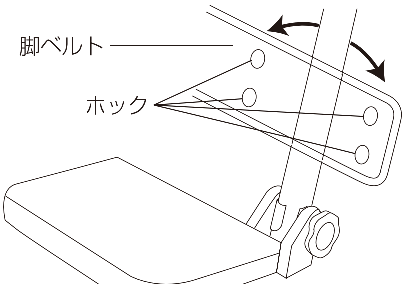


フットレストパイプをカチッと音がするまで差し込んでください。パイプは少し回転させつつ差し込んでください。



①パイプロックを内側と外側から指で挟むように押し込み、ロックを解除してください。
②フットレストパイプを引き抜きます。抜きにくい場合はパイプを回転させつつ抜いてください。

脚ベルトの取り扱い方



くるくるチェアD

脚ベルトは取り外し可能です。

ご利用方法に合わせて着脱してください。

脚ベルトの左右のホックを外すと取り外せます。脚ベルトを取り付けるときは、左右同じ位置でパイプに巻いてホックで止めてください。

お手入れ方法

- ご使用後は、石けんやシャンプー、入浴剤などを洗い流してください。汚れのひどい場合は、薄めた中性洗剤に浸した布を絞って拭き、その後やわらかい布で乾拭きしてください。
- ご使用後は、日陰の通気性の良い場所で乾かしてください。濡れたまま放置されますと、塗装はがれ、カビの原因となります。
- 座シート（メッシュシートを除く）、背シートは外して洗えます。
- 車輪にほこりがつくと、きしむ事があります。その際は、ミシン油を少量注油してください。むやみに注油されますとほこりが付きやすくなり、汚れますのでご注意ください。

※ 塩素系・酸性・アルカリ性洗剤、シンナー・ベンジン等は絶対に使用しないでください。また、タワシやみがき粉、研磨剤等は使用しないでください。本体が劣化し、破損、けがの原因となります。
※ 直射日光に当てないでください。樹脂部品が劣化し、破損、けがの原因となります。また、退色するおそれがあります。
※ 熱湯をかけないでください。樹脂部品が劣化し、破損、けがの原因となります。
※ アイロン、乾燥機の使用はおやめください。

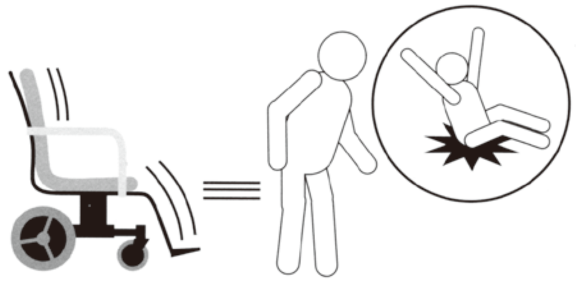
安全上の注意事項

注意

●シートの前端部やアームレストの上に腰掛けないでください。転倒してケガをする恐れがあります。また、座ったままフットプレートに強く重心をかけないでください。本体ごと転倒する恐れがあり、大変危険です。

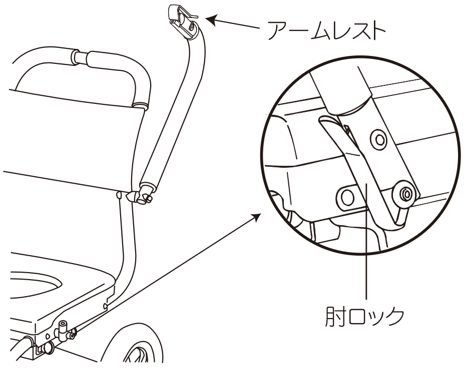
注意

●乗り降りされる際は、必ず車輪をロックして本体を固定し、座シートの位置を確かめてからお座りください。また、フットプレートに足をかけて乗り降りしないでください。本体ごと転倒する恐れがあり、大変危険です。



注意

●アームレストをはね上げたままで使用しないでください。ご使用の際は、アームレストを必ずロックしてください。ロックがされていないとアームレストが外れる恐れがあり、危険です。また肘ロックを操作する際は、指詰めにご注意ください。



注意

●座っている時に体を強く緊張または硬直されますと、本体に後ろ向きの力が加わり、本体ごと後方や横に転倒する恐れがあります。また、座ったまま足を前に投げ出し、浴槽の縁に足を乗せる等されますと、転倒する恐れがあります。介護者は、ご利用者の状態を常に見届けてください。

座位保持が難しい方のご使用はご遠慮ください。

注意

●人以外の運搬に使用したり、踏み台の代わりとして座シートの上に立つなど、本来の用途以外で使用しないでください。ケガや故障の原因となります。

注意

●ボルトやネジが緩んでいる状態や、座シートがぐらついたり、異音を発している状態のままで使用しないでください。本体が壊れ、ケガをする恐れがあります。この場合は、すぐに使用を中止し、お買い求めの販売店にご連絡ください。

⚠ 安全上の注意事項

使用上のご注意　安全のため必ずお守りください

- 本製品は、室内専用です。屋外では使用しないでください。
- 本製品を浴槽に沈めての使用（中間浴）はしないでください。
- 『くるくるチェアD』は、10cmを超える段差では使用しないでください。
- 故障の原因となりますので、次のところに放置しないでください。
  - ・戸　外
  - ・直射日光のあたる場所
  - ・冷暖房器の冷気や熱気が直接当たる場所
  - ・ストーブなど火気の近く
  - ・高温多湿、低温な場所
  - ・風通しの悪い場所
- 本製品を本来の目的以外で使用されたり、お客様ご自身での改造や分解が原因で起きた破損･事故に関しましては、保証対象外となりますのでお止めください。
- Pタイル、フローリングなど、硬質な滑りやすい床面で使用する場合は、乗り降りの際に特に注意してください。
- 石鹸やシャンプーを使用した床面や濡れている床面では、車輪を固定しても本体が動く場合があります。
- 本体を持ち上げる際に、アームレスト、フットレスト、脚ベルトなどを持たないでください。
- ハンドルに重いものを引っ掛けないでください。転倒するおそれがあります。
- 背シートのマジックテープを確実に固定してください。
- 背シートを取り外して使用しないでください。転倒、けがをするおそれがあります。
- 石鹸やシャンプーを使用した際は、必ず洗い流してからお乗りください。滑って転倒、けがをするおそれがあります。
- 乗り降りされる際は、アームレストや座面の片側だけに手をついたり、アームレストを手すり代わりにして、横方向に力をかけないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- 乗り降りされる際は、必ずフットプレートをはね上げてください。フットプレートの上に乗って乗り降りをすると、転倒、破損の原因となります。
- 乗り降りや使用時は、平坦な場所で行ってください。転倒、けがをするおそれがあります。
- 片側だけに無理な荷重をかけないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- 座面やフットプレートの高さ調整後は、必ずノブナットをしっかりと締めてください。
- 座面高さ調節ネジは、4本とも同じ位置で締め、座面高さが同じようになるようにしてください。
- 回転中心ボルト（M16）を絶対に締めたりゆるめたりしないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- 車輪を固定したまま押さないでください。破損、故障のおそれがあります。
- ご利用者がハンドルを支えにしての移動や、立ち上がりはしないでください。転倒、けがをするおそれがあります。
- 1ヶ月に一度は定期点検を実地してください。

商品廃棄方法

各市区町村条例で定められた分別に従って処分してください。